

工業 持ち株会社制移行

来月 1日付 経営判断を迅速化

医療用品メーカーの
ダイヤ工業（岡山市南区古新田）は、4月1

日付で持ち株会社制に移行する。接骨院向けのコルセットやサポーターが主力のダイヤ工業と、同社の関連企業2社を事業子会社化し、経営判断の迅速化や競争力の強化を図る。

持ち株会社ダイヤホールディングス（資本金1千万円、同所）を同日付で設立。グループ全体の戦略を立案し、経営資源の配分や人材育成などを行う。社長はダイヤ工業の松尾正男社長が兼ねる。傘下にはダイヤ工業

（同1千万円）と、骨の再生を促す接着性人

工骨を開発する医療系ベンチャー・メディカルクラフトン（同1300万円、同所）、カフレストラン経営のDNG（同300万円、同所）が入る。3社の売上高を合算すると約37億6千万円（2017年3月期見込み）、従業員は約120人。松尾社長は「事業子会社に責任と権限を移して意志決定のスピードを上げ、顧客ニーズに迅速に答えられる体制をつくる」と話している。（水野雅文）